

事業評価書

補助事業名	岐阜飛行場関連公共用施設市道蘇北558号線道路改良舗装事業					
補助事業者名	各務原市長					
実施場所	各務原蘇原中央町地内					
補助事業の成果の目標	市道蘇北558号線は、住宅密集地内の幹線道路であり、地区内に立地する小中学校の通学路にも指定される路線であるが、約40年前に整備された道路は老朽化し、狭い歩道幅員やマウントアップ構造による大きな段差が、歩行者の通行及び沿線住民の土地利用に支障をきたしている。 このため、歩道幅員の拡幅、バリアフリー化、セミフラット化及び舗装改修を行い、歩行者の利便性の向上等道路交通の円滑化を図る。					
補助事業の内容	工事延長 830.0m 道路幅員 6.0m 歩道幅員 3.0m+2.0m					
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成27年度					
事業費及び交付金額		25年度	26年度	27年度	28年度 予定	計
	事業費	円 50,358,000	円 49,914,360	円 40,163,040	円 -	円 140,435,400
	交付金額	48,400,000	44,000,000	37,538,000	-	129,938,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	道路の改良・舗装を行うことで、歩行者の利便性の向上等道路交通の円滑化が図れた。また、アンケートの結果より、「(車道)以前より走行し易くなった」「(歩道)安心して歩行できるようになった。」と回答している人がほとんどで、事業の効果を確認できた。 さらに、工事発注時に回覧する自治会回覧文書及び工事中の立て看板並びに市のホームページに「防衛省調整交付金事業」で実施している道路改修事業であることを掲載・記載し、地元住民及び市民へ周知した。					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。